



水口高校 3年生 弓道部
にしわき まさと
西脇 真人さん
全国高等学校総合体育大会(インターハイ)
弓道個人部 1位

勝因は平常心

インターハイに弓道個人部で出場した西脇さんは、全国の強豪選手たちを抑え、日本一の栄光に輝きました。次の目標である国体、そして受験に向け文武ともに鍛錬を重ねる西脇さんを、水口高校弓道場に訪ねました。

○弓道を始められたのはいつですか？またきっかけについても教えてください。

高校に入ってからをはじめました。先輩たちが着物と袴に弓を持って歩く姿が格好よく、その姿に憧れて弓道部に入部しました。

○弓道を始めてみての感想は？

最初は想像していたより難しく、的に当たらなかったのですが、徐々に当たるようになってくるにつれ、とても楽しくなってきました。しかし、1年の冬から2年にかけては伸び悩み、命中率が8%程度まで落ち込むというつらい時期も経験しました。それでも、自分に負けたくないという一心で、諦めずに少しずつ前に進んできました。

○インターハイ出場を目標にがんばってこられたのですか？

弓道は常に自分との戦いです。その勝負に負けさえしなければ必ず結果が出て、県大会での優勝は狙えると信じてやってきました。実は県大会の後にインターハイがあると知らなくて県大会での優勝で満足していたのが正直なところです。

○インターハイの勝因は？

周りの出場選手は、とても強そうでしたが、自分と同じように緊張しているようでした。だから、今回も自分に負けずに普段通りにできれば、必ず結果が出ることを信じて落ち着いて臨みました。最後に残った自分以外の2人が的に当たらず、自分の矢だけが当たった瞬間はほとんど実感が湧きませんでした。場外にでた途端マスコミに囲まれ、仲間に祝福されると共に大きな充実感に包まれました。インターハイということで気負いせず、平常心を保てたことが勝因だったのではないかと思います。

間もなく国体が始まりますが、やはり自分に打ち勝つことを心掛けて、自分の満足できる競技をしたいと思っています。(国体は岐阜県で開催され、弓道は10月6日～9日の予定です)



◀弓を引き分ける西脇君



元気なまちかど

女子プロゴルフメジャー トーナメント、市内で開催

日本女子プロゴルフ選手権大会が9月6日から9日までの4日間、信楽町のタラオカントリークラブで開催されました。この大会は、「国内メジャートーナメント」と呼ばれる最も権威ある4つの大会の1つで、期間中、一流プロのプレーを間近に見ようと多くの観客で賑わいました。

途中、雷雨に見舞われるなど難しいコンディションのなか、有村智恵選手が自身初めてのメジャー大会を制しました。開催地である当市からも優勝の副賞として「信楽焼ききふくろ」の空気清浄器と「信楽焼き茶器と朝宮茶のセット」が中嶋市長から有村選手に贈られました。



▲有村選手に記念品を贈る中嶋市長

成人の日から半世紀 古希につどった同窓たち

「いつか盛人のつどい」が9月1日、あいこっか市民ホールで開催され、多くの参加者でにぎわいました。

このつどいは、市が今年から新たにスタートさせたもので、70歳を迎えた皆さんを中心にお互いが再会を喜び合い、また、新たな出会いのきっかけづくりの場になることを願って実施するものです。

年齢を重ねても健康で生きがいを感じながら毎日を送ることは、人生をより充実させるうえで大切なことです。市では、「成人式から半世紀を経た「盛人のつどい」を記念の年中行事として続けていきたいと考えています。



▲多くのご来場ありがとうございました

子どもたちにお菓子で 笑顔を届ける活動

子どもたちに心のこもった手づくりお菓子を食べてもらおうと水口小学校の児童のお母さんが9月5日、同校家庭科室に集まりました。参加したのは、オリジナルのお菓子を作り、それを子どもたちに届けるボランティア活動をされる皆さんです。

今回、試作されたお菓子の名前は「ぱりんとう」。ごまを練り込み、卵や小麦粉で作る素朴な味の揚げ菓子で、調理法の確認などを念入りに行いました。また、卵や小麦のアレルギーを持つ子どもたちにも安心して食べてもらえる工夫や、アイデアを話し合っていました。参加したお母さんの一人は「素朴な味のお菓子ですが、今の子どもたちには新鮮で懐かしい味がするのでは」と、子どもたちのよるこぶ姿を思い浮かべながら手際よく仕上げていました。



▶「ぱりんとう」を揚げるお母さんたち▶

夏の風物詩を 信楽焼が演出

陶芸の森信楽産業展示館で恒例の「いまだき、しがらき、かやりき展'12」が、8月4日から9月23日までの間、同館で開催されました。

夏の夕べ、涼風を楽しむのに欠かせない蚊取り線香ですが、蚊遣り器も風情を醸し出す必需品です。期間中、会場には昔ながらのブタを形どったものや斬新なデザインのものまで、さまざまな種類の蚊遣り器が並べられました。

京都から訪れた来場者は「この展示は夏の風物詩として毎年楽しみにしています。」と、一つひとつの作品を眺め、買い求めていました。



▲展示された作品の一部

J2リーグ昇格を目指して

水口スポーツの森陸上競技場内サッカーグラウンドで、日本フットボールリーグ(JFL)の公式戦が9月16日、行われました。



▲熱戦を繰り広げる両チームの選手

この日は、900人近いファンがサッカー観戦に訪れ、その歓声を背に、MIOびわこ滋賀が1対0で勝利しました。観戦に訪れた親子連れは「水口でプロサッカーの試合が観戦できて、子ども私も感動しています。」と話されました。